

～宮崎市安井息軒記念館 開館に寄せて～

安井息軒の研究者からのメッセージ

早稲田大学



古賀 勝次郎 教授

安井息軒先生は江戸時代最後を飾る儒者でしたが、その学問は日本の近代化を導くものでした。近代化には西洋の自然科学と法治国家思想の導入が必要でしたが、先生の学問はこの二つの導入を可能にしたのです。先生の学問はそれほど広く深かったのです。それ故、先生の誕生の地・清武町は、近代日本の学問のメッカといえます。この度この地に安井息軒記念館がオープンしたことは、日本にとって非常に意義あることと大変喜んでいきます。

二松学舎大学



町泉 寿郎 教授

日本漢学に携わる者にとって安井息軒とその孫の安井朴堂の名は極めて大きい。先に清武を訪問して以来、顕彰会をはじめとする地元の息軒への思いに強い感銘を受けてきた。息軒研究は近年確実に盛んになっているが、いまだその「知の巨人」の全貌が明らかになっていないと言えない。再出発する安井息軒記念館が拠点となって、顕彰活動や資料公開が促進されることを願う。私も微力を尽くしたく思う。関係各位に祝福と期待を贈る。

梅光学院



中野 新治 院長

安井息軒記念館の開設、おめでとうございます。宮崎の生んだ偉大な儒学者というだけでなく、息軒・佐代夫妻の歩んだ人生そのものが多くのことを私たちに語り掛けてくれます。森鷗外はそれを「無私の産みをだすもの」と理解し、『安井夫人』に物語化しました。地元清武町の皆様は次世代に伝えるための努力を営々として重ねておられます。此度の記念館の開設によって、息軒先生の沃土（よくど）が、さらに見事な実を結ぶことを願ってやみません。



安井家、埼玉県川口市からの祝電

安井家当主
安井 雄一氏

当家先祖の息軒の偉業功績を現代に伝え、さらに道德の教えを広めようとされる宮崎の方々の日々のたゆまぬ熱意と研鑽の賜物と思えば、私どももさらに身の引き締まる胸中にございます。

記念館が皆さまに親しまれ、先祖息軒の息吹が花咲く中心の場でありますよう、安井家を代表し、ご祈念申し上げます。

川口市長
奥ノ木 信夫氏

本日の「宮崎市 安井息軒記念館」開館記念式典がかくも盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。皆さまには日頃より大変お世話になり、深く感謝申し上げます。今後も貴会の益々のご発展とご健勝、ご活躍を祈念致します。

